

ふれあい

第108号

医療法人ガラシア会
介護老人保健施設
ニューライフガラシア
広報委員会

2023年 2月発行
TEL 072-729-2346
FAX 072-729-7951



皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、老健施設全体が新型コロナウイルスの直撃を受けた厳しい1年でした。療養棟6階に始まり、療養棟5階、4階のデイクアと順に計4回のクラスター発生を経験しました。職員の感染も相次ぎ、一時的に出勤できるスタッフが不足するという事態にも直面しました。そのような過酷な状況の中で、全職員が一致団結、協力し合って、淡々と業務を遂行し、危機を乗り越えたことは、本当に心強く感じました。また、利用者のご家族の方々には、この困難な状況をご理解いただき、心暖かく見守っていただいたことを心より感謝申し上げます。

一方で、丸3年に亘るコロナ禍による隔離と活動制限で衰弱が進行する高齢者の方々に對して、なすすべもなく手をこまねている自分たちの無力さには悔しい思いを強くしました。せめて何かできないかと、YouTubeにニューライフガラシアチャンネルを開設し、動画配信、ライブ配信という新しい試みにもチャレンジして来ました。今では、自宅での動画鑑賞を楽しみにしておられる方々も少なからずおられるようです。

今年は、コロナ禍が次のフェーズに移っていくものと思われます。利用者様とご家族の方々、そして地域住民の皆様に、老健施設としてどのような貢献が出来るのかということ日々考え、工夫しながら、皆様に愛されるニューライフガラシアを目指して努力してまいりますと存じます。その一環として、医療・介護関係の映画の自主上映や延期になっていました老健寺子屋の開講も予定していますので、ご期待ください。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

施設長 阿曾沼 克弘



映画自主上映会
『うちげでいきたい』
2023年2月10日(金)
17:20~18:30
ガラシア病院7階ガラシアホール
先着50名様
お申し込みはお早めに！
申し込み：
072-729-2346

老健寺子屋
2023年4月開校予定

老健寺子屋NLG(ニューライフガラシア)塾が開校します。
第1回目は、京都大学名誉教授 富谷 至氏を迎え
『中国古代の人はギョーザを食べていたのか
~~中国三千年の味を求めて』
というテーマでの講演を予定しています。お楽しみに！



前回は、傾聴が必要な「心の痛み」を持っている方の例として、「早く終わりにしたい（死にたい）」という方の例と「なぜ自分がこんなに苦しまなければならないのか」と嘆いている方の例を見ました。

次は、「神も仏もないのか！」と現状を嘆いている方の例を考えてみます。このように言われたとき、信仰深い人は、「神様には神様の考えがある」などと弁護したくなるでしょうが、神様や仏さまは、あなたに弁護してもらわなくても大丈夫です！それよりも、これは「ぶつけるところのない怒り」として受け止め、その怒りをじっくりと傾聴することが、その方の「心の痛み」を少しでも和らげるのに役立つと思われます。

次に、人生の終わり近くになったと感じた方が「自分の人生に後悔している」というようなことを言ったときのことを考えてみます。これを聞いて、何とか慰めてあげようとして、「あなたにもよい時もあったでしょう」とか「人生は山あり谷ありだよ」などと言っても、本当に苦しんでいる方の心は晴れません。この場合も、傾聴するためには、「否定も肯定もしないで」反省や後悔の感情を出せるようにする必要があります。例えば「やりきれない思いが、今もあるのですしたら辛いですね・・・」などと言って、相手の話すのを待つというのも一手でしょう。

死が近づいたと感じる方は、「死が怖い」「死が不安」という気持ちになっても当然です。これは未経験のこと、はっきりわからないことへの恐れや不安です。この「恐れや不安の気持ち」を傾聴して、相手が信じる死後の世界のアイディアに耳を傾ける。

「何であれ」その方が思っている死後の世界を描いていただくことによって、心の平安が持てれば良しとします。



百寿さん※
いらっしやい

片山 笑子さま
大正11年12月1日生

* 百寿とは：100歳を迎えた方のこと

好きな食べ物
水蜜桃・メロン

長生きの秘訣
よく食べること

ご家族様より

100歳

おめでとうございます。
私たち家族も本当に嬉しく
思っています。
これからも元気でいて下さい。



100歳おめでとうございます
おしゃれで素敵な笑子さんに
いつも励まされます。
いつまでもどうぞお元気で。

ニューライフガラシア
スタッフ一同より